

1. 新潟県 2. 北海道 3. 宮崎県 4. 千葉県

1. 環境保護の観点から機械の使用を制限し、1戸あたりの飼育頭数を減らす取り組みが進んでいる。
2. 労働力不足を補うために、経営規模の拡大や搾乳ロボットの導入による機械化が進んでいる。
3. 乳製品の需要低下に合わせ、手作業を中心とした小規模な家族経営への転換が進んでいる。
4. 飼育戸数の減少に比例して全体の生産量も減少し、酪農から畑作への転換が進んでいる。

1. 限られた土地から高い収益を得るため、ビニールハウスなどを活用した施設園芸農業が中心となっている。

2. 土地の生産性を高めるために、多くの労働力を投入する労働集約的な稲作が広く行われている。

3. 寒冷な気候による被害を防ぐため、耕地面積を小さく抑え、小規模で多品目な栽培を行っている。

4. 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。

1. 飛騨山脈 2. 赤石山脈 3. 日高山脈 4. 奥羽山脈

1. 石狩低地帯の東側には日高山脈が南北に走り、地域の地理的境界線となっている。

2. 十勝平野の西端には赤石山脈が位置し、冬の季節風を遮る役割を果たしている。

3. 襟裳岬から北へ向かって飛騨山脈が延びており、道内最高峰の山々が連なっている。

4. 石狩低地帯の西側には奥羽山脈が連なり、大規模な稲作地帯を形成している。

1. ビニールハウスなどの施設を大規模に建設し、一年中同じ作物を育てる温室栽培の手法	2. 豊富な労働力を一箇所に集中させ、手作業によるきめ細かな管理を行う手法	3. 大型の機械を導入し、少ない人数でも広範囲の作業を短時間でこなす手法	4. 土地を細かく区画分けし、多種類の作物を少量ずつ組み合わせて栽培する手法
--	---------------------------------------	--------------------------------------	--

1. かつて広大だった農地が、自然保護の観点から国主導で大規模な湿地へと還元された

2. 明治時代には流域の大部分を占めていた湿地が、開発とともに減少し、農地や市街地へと変化した

3. 市街地を拡大させるため、もともと存在した森林をすべて取り除き、大規模な泥炭地へと造り替えた

4. 泥炭地と呼ばれる湿地は、地盤沈下を防ぐ目的から、明治時代と同じ面積が現在も維持されている

1. 大雨が降った際に地面の侵食を防ぎ、土砂が海へ流出するのを食い止めるため
2. 観光客が地面を直接踏み固めて、貴重な植物の成長を妨げないようにするため
3. ヒグマなどの野生動物が、人間の歩行ルートに侵入できないように物理的に遮断するため
4. 周辺の森林から切り出された木材の輸送を効率化し、地元の林業を活性化させるため

1. 海面が氷で覆われることで魚の回遊が促進されるため、冬の時期にオホーツク海での大規模な漁船漁業が最も盛んになる。
2. 氷の重みを利用して港の海底を深く削り取る天然の浚渫（しゅんせつ）効果があるため、大型船の入港を助けている。
3. 氷を割って進む砕氷船の運航や流氷の上を歩く体験など、冬の貴重な観光資源として活用されている。
4. 流水に含まれる豊富な塩分を精製して塩を作る工場が沿岸部に多く建設され、冬の主要な地場産業となっている。

1. ヒートアイランド現象 2. 海霧 3. やませ 4. フェーン現象

1. 冷涼な気候でも育つ牧草を利用し、乳牛を育てる大規模な酪農を行う。
2. 山地を切り開いて段々畑を作り、水はけを良くして果樹栽培を行う。
3. 温暖な気候が必要な米の品種改良を進め、広大な平野で二毛作を行う。
4. 夏の涼しさを利用して、東京などの大消費地向けにレタスなどの高原野菜を栽培する。

1. 北海道の根室半島から最も遠い位置にあるため、現在はロシアとの間で共同統治を行うことで合意している。
2. 日本固有の領土であるが、第二次世界大戦終結直後から現在までロシアによって法的根拠なく占拠されている。
3. サンフランシスコ平和条約において日本が放棄した千島列島の一部であり、現在は国際連合の管理下にある。
4. 日露親善条約においてロシア領と決められたが、日本は歴史的な経緯から返還を求めている。